

# 第6学年1組 社会科学習活動案

男子18名 女子12名 計30名

場 所 6年1組教室

授業者 松田 祐樹

## 1 単元名 明治の国づくりを進めた人々

### 2 6年1組の子どもたち

本学級の担任になって1年半。学年目標「心をつくす」に向け、自分にできること、自分がすべきことを見つけ出し、動き、かかわることが増えてきた。特に、今年度は小学校生活最後の1年間であり、積極的なチャレンジをしようとしている様子がある。最後の意気込みで臨んだ運動会は、成功と失敗の連続だった。A児は、仲間内では楽しく交流ができるが、人前ではあまり自分を表現しない消極的な様子の目立つ子どもであった。しかし、そんな自分を変えたいと今年は運動会の幹部に立候補した。振り付けの提案も、声出しも、最初はやはりうまくいかず、自分が何をすべきかに戸惑い、周りの様子を伺う姿があった。全体練習が始まって幹部の進め方が上手くいかない時、「振り付けができていない子にかかわって教える」という自分の役割を見つけたことでA児の表情が変わった。達成すべき目標を見出した表れだと感じた。その後のA児の活動から、1回のチャレンジが彼女にとって非常に大きい機会になったと感じている。学習でも生活でも自分の中で見通しが立ち目標が見えた時に物事は自分事になる。

考えを広げたり深めたりするために、昨年度からグループ活動を中心に据えて学習を行ってきた。学習課題には、説明しようや話し合おうなど言語活動を設定し、話をしたり聞いたりすることで自分の知識や概念を広げる、深めることを大切にしてきた。社会科の授業では、鎌倉時代に将軍がどうして鎌倉に幕府を開いたのかを考えていった。最初は「自分が住んでいた場所に幕府を開いたんじゃないか。」という考え方が大半だったが、三方が山に囲まれていることや朝廷との位置関係について資料から読み取った子どもたちは、拡大資料を指さしながら代わる代わる思ったことを伝え始めた。「思ってもいないことに気づく人がいて良かった」と答えた子どもや説明を聞く時の明るい表情をした子どもが印象に残った。グループで伝え合う際には、自分のノートだけを見ながら説明する相手意識に欠けた子どもや、対話に発展せず発表会で終わってしまうグループがあるという現状もある。本単元では考えを広げる深めるための活動として対話活動を捉え、まずは自分事になるように自分の考えを作り、伝え合って深めていく学習を大切に展開していきたい。

子どもたちは歴史学習を楽しんでいる。図書室からも進んで偉人紹介の本や伝記を借り、自主学習で歴史上の人物を調べてきている。昔の人々の暮らしや生き方に魅力を見出して、歴史を学ぶことに惹きつけられている様子がある。

### 3 教材について

本単元は、学習指導要領「第3節 第6学年の目標と内容2.内容(1)キ」に基づいて設定した。歴史を学ぶ意義は、史実をもとに立場や場所など視点を変えて社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考える力の形成にあると捉えて授業創りを進めてきた。一学期に行った鎌倉・戦国の学習では、源頼朝や北条政子、三人の武将ら、人物の業績やエピソードから思いや「一所懸命」にかけた武士の思いを読み取ったり幕府の統制を考えたりする学習を行ってきた。

本単元は、黒船来航がきっかけとなり開国に方向転換し、開国がきっかけとなって江戸幕府体制の支配力が低下していく等、歴史の流れの中で人物や当時の人々の思い・願いに目を向けていく活動を設定していきたい。当時の東アジアを巡る植民地支配の状況から開国を迫るペリーの思惑や幕府の考え、維新に関わった人物の主張や根拠、政治家たちは互いをどう見ていたか等、多角的に考えることができる。必要性に迫られた中でそれぞれの人物が行った政策についてどのような思いで実施しよう

としたのか、政策の実施がどのように社会に影響したかを読み取ったり考えたりすることができる。また、明治期は、封建社会が衰弱化し近代日本の基礎を気付いた時代であり、切迫感のある思いが原動力となり社会が動いていったことをより強く感じ取ることが出来る時代でもあると捉えている。

#### 4 子ども中心の単元づくりを目指して

##### (1) 単元の目標

- ・黒船の来航から明治維新、文明開化などの時代の変化とともに、廃藩置県、四民平等、大日本帝国憲法の発布などの諸改革を行った明治政府に関心を持ち、我が国が欧米の文化を取り入れながら近代化を進めていったことを進んで調べようとしている。(関心・意欲・態度)
- ・人々の生活の変化や諸改革を行った人々の思いや願いについて考えたり、諸改革を相互に関連付けたり総合したりしながら、欧米の文化を取り入れつつ近代化を進めたことや関わった人々の願いや働き、文化遺産の意味について考え、言葉などに表している。(思考・判断・表現)
- ・明治という新しい時代になって人々の生活が変化したことや我が国を近代化するために様々な諸改革を行った代表的な人物の働きや文化遺産について必要な情報を読み取り、歴史新聞にまとめている。(技能)
- ・黒船の来航、明治維新、文明開化と時代が変化し、明治政府が廃藩置県や四民平等、大日本帝国憲法の発布などの諸改革を行ったことを通して、欧米の文化を取り入れつつ、近代化を進めたことがわかっている。(知識・理解)

##### (2) 単元構成について

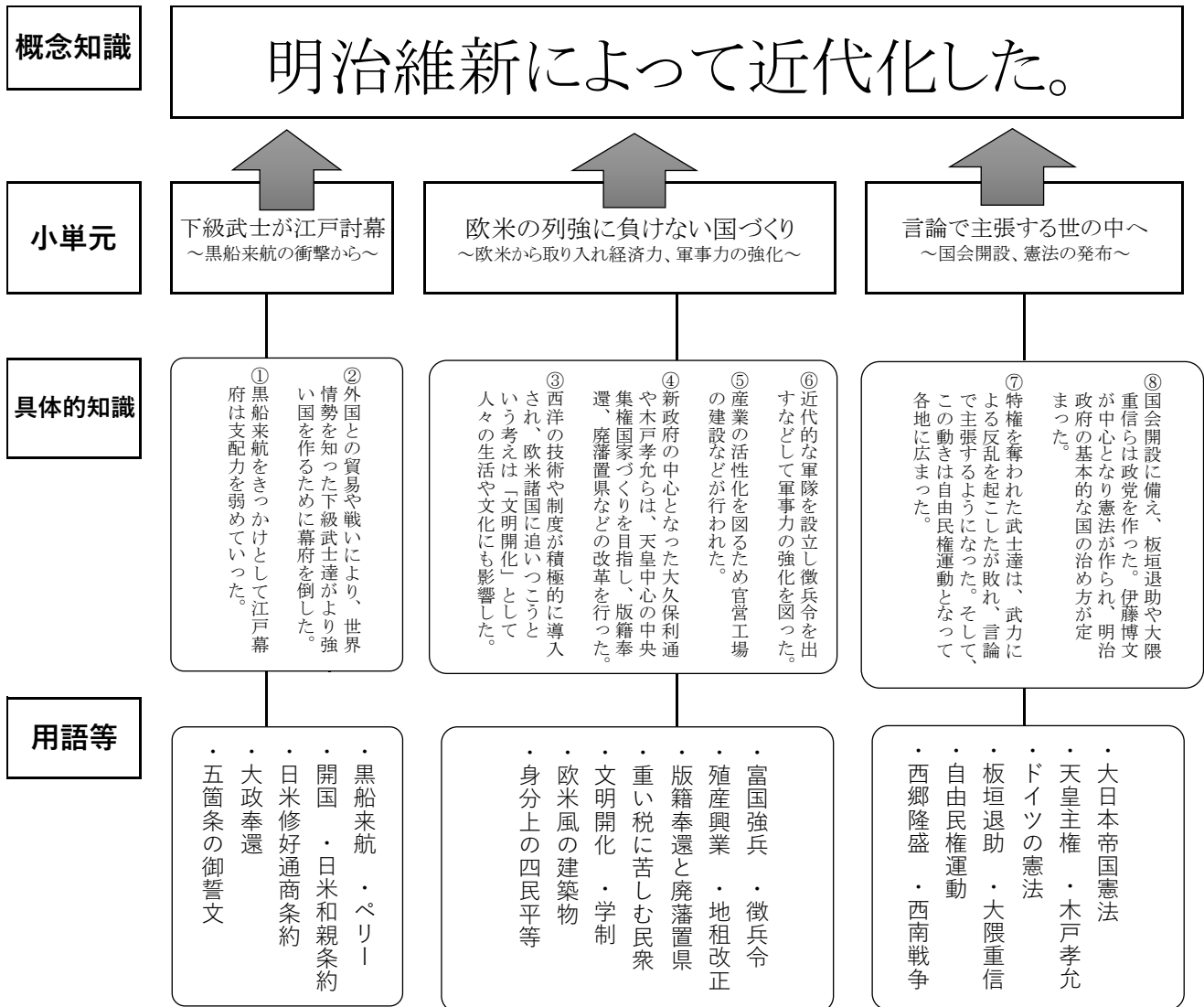
導入で寺子屋と小学校で学ぶ子どもたちの様子の比較を行い、短期間で勉強の様子や町の様子が現代にぐっと近付いたことを学習していく。寺子屋でばらばらに学習していた子どもたちが教室で椅子に座って整然と学習している様子の違いから、「このように変えたのはどうしてなのか」という問いが生まれるようにしたい。政策として教育に力を入れていくようにした理由や学校に通う子どもたち、通わせる保護者の思いなどにも思いを馳せていく。また、明治から江戸にかけての人口のグラフを読み取り人口が急増していることに気付き身分制度の消失や、将来の可能性が開けた明るい未来が想像できた時代であったことを学んでいく。このような学習活動を通して、明治期には大きな変化があったことを知り、具体的にもっと知りたいと思えるように単元の導入を行っていく。

単元の中盤では、明治期の出来事について年表を読み取り、大体の流れを知るようにする。開国を迫るペリーを幕府がどう思ったかなどについて当時の人々が描いたペリーの肖像画から考えていく。明治期の僅かな期間で近代化を果たすことに成功した理由は時代の切迫感にあるが、どういう理由で日本が切迫感を抱いていたかが分かっていた方が自分事として捉えられると判断し、中学校教科書から当時の東アジア情勢についての資料を持ち出して提示している。鎖国を続けた場合のことを予想することで、開国せざるを得なかった当時の人々の思いに近付くことができると考えた。これらの学習で得た知識を活用して明治維新の出来事について自分で思考し判断する時間を設けた。明治期の対外状況や出来事の大きな流れを知った上で、知識を活用することで自分の思いを持って語る、漠然と捉えていた明治期の出来事を一歩自分に近付けて学習ができるのではないかと考え単元の中盤に活用の時間を設定した。その後、ランキングを作って話し合う中で生まれた疑問や問いを追及する時間を設けた。新たな疑問点が生まれて調べていく良いサイクルが生まれることを期待しての設定だが、本単元で初めてこのような展開を行うため、子どもたちの様子を見て指導形態は適宜変更していく。

単元の終末には、これまで二回新聞記事を作成する活動を組み込んできた。記事内容については、子どもに考えて欲しい内容の枠組みは必要だと考えている。今回の新聞作成も、枠組みを提示しながら子どもが書きたい内容も組み込み、単元全体を捉えなおしながら作成していきたいと考えている。

このような学習の流れを通して、一単位時間の充実も大切にしながらも、単元全体を通して子どもたちが「明治維新の近代化」について自分の言葉で語れるようにしていきたいと考えている。

(3) 知識の構造図



(4) 目指す子どもの姿にせまるための手立て

① 一人一人の認識を深めるアウトプットの機会を意識した授業創り ～自分事～

子どもたち自身が史実の見方や考え方が深まったと感ずることが出来る授業を目指していきたい。一斉学習で断片的にインプットした知識を、相互に関連付けたり総合的に考えたりしながらアウトプットする機会を大切にしていく。また、単位時間の学習のふりかえりを学び方の振り返りではなく社会科の内容についてふり返るように促していく。

② 話し合いで考えを深めるための発言・質問の仕方の指導 ～伝え合う～

話し合いで、自分の主張が相手の主張と食い違っていたり、考え方に共通点や疑問点があったりする場合に伝え合って良かったという喜びや学びの深まりが生まれると考える。本単元では、立場を明らかにしてから話す、根拠となる事実を示して話す、自分の思いを持って話す、自分の主張を明らかにしながら質問するなどの方法を伝え、深い話し合いが実現できるようにする。

(5) 予想される子どもの学び (7時間扱い 本時4時間目)

時	学習活動 (○)	主な留意点 (・) と評価 (◇)
1	<p>○寺子屋と小学校の教室の様子を比較する。</p> <p>○江戸と明治で人々が勉強にける雰囲気が変わったのはどうしてか考える。</p> <div data-bbox="199 360 853 465" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>勉強の様子や、町の様子、服装の様子が大きく変わったのはどうしてだろう。</p> </div> <p>○政策として教育に力を入れた理由を知り、海外の国々を政府がどう捉えていたかを考える。</p> <p>○人口推移のグラフを読み取り、江戸時代に人口が増えた理由、明治期に人口が急増している理由について今までの学習と関係付ける。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各々が行いたいことを行っている様子と一斉に学んでいる様子、勉強への取り組みの熱意の違いに気付けるように促していく。</li> <li>◇進んで寺子屋と小学校の比較を行うことができてきている。(関意態)</li> <li>・人口増加した事実と、江戸時代と明治時代では身分制度が消失して希望を見いだせるようになったことを関連づけていく。</li> <li>・人々が希望を抱いたことと、政策として教育を位置づけたことを関係付けて考えていく。</li> <li>・情報過多にならないよう、掲載する情報の取捨選択を行った年表を提示する。</li> </ul>
2	<div data-bbox="199 712 853 817" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>さまざまな様子が変わったのは、どういう出来事があったからだろう。</p> </div> <p>○ペリー来航絵図やペリーの肖像画、来航目的について、資料から読み取る。</p> <p>○鎖国を続けた場合に日本はどうかを考え、開国を選択した当時の幕府の思いを読み取る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当時の人々が描いたペリーの絵から人々が黒船やペリーをどう捉えたかを考えていく。</li> <li>・鎖国を続けた場合について考える事で開国せざるを得ないと考えた人々の思いに迫る。</li> <li>◇開国せざるを得ないと考えた人々の思いに立って考えることができる。(思考)</li> </ul>
3	<div data-bbox="199 1010 853 1115" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>さまざまな様子を変えた四人の政策の中で、どの人の政策から実行すべきか考えよう。</p> </div> <p>○近代化に貢献した四人の主張や働きを知る。</p> <p>○西郷、大久保、木戸、板垣の中で誰の意見を優先して実行すべきかを考えランキングにする。</p> <p>○最優先にすべきと考えた人物、最後で良いと考えた人物について、考えた根拠を書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各人物の主張をまとめた資料を提示する。</li> <li>・議会も工場も外国の支援もなかったことから「どこから手をつけていくのが良いか」という視点で考えていくように促す。</li> <li>・多様な考え方を引き出すためダイヤモンドランキング形式で自分の優先順位を作成する。</li> <li>◇その人物を選んだ理由を自分なりの根拠を持って表現している。(表現)</li> </ul>
④ 本 時	<div data-bbox="199 1377 853 1460" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>4人の政策の中でどの政策から実行すべきか、根拠を挙げながら話し合おう。</p> </div> <p>○同じ人を1位に選んだ人同士で、そのランキングを作った理由について語り合う。</p> <p>○違う人を1位に選んだ人同士で、そのランキングを作った理由について語り合う。</p> <p>○自分の作ったランキングを見直し、最終的なランキング作成と根拠を書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教室の四隅を使って分け、選んだ人物ごとに集まるようにし語り合う人を見つけることが容易にできるようにする。</li> <li>・1位の人物ごとに紙の上部に色分けをして一目で分かるようにする。</li> <li>・最初のランキングと最後のランキングでどう変わったかについてじっくりふり返る時間を設ける。</li> <li>・調べ方は子どもの様子や反応を見ながら学習形態を柔軟に変えていく。</li> </ul>
5	<p>○気になったことを班で出し合い、その内容について教科書や資料集などの資料を参考にしながら全員で調べ納得を図っていく。</p>	<p>◇資料を選んで調べているか。(技能)</p>
6	<p>○明治維新新聞を作成する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちに考えて欲しい内容を記事のモデルとして示すが、他に子どもたちが書きたい内容があれば選択するようにする。</li> </ul>
7		<p>◇単元を通して学んだ明治維新に関連する内容を新聞に書き表すことができる。(表現)</p>

## 5 本時の学習（4／7時間）

- (1) 目標 ランキングの根拠について話し合うことを通して、我が国が欧米諸国に対抗し近代化するために進めた政策について捉え直すことができる。
- (2) 本時で求める姿
- ・話し合ったことをもとに、ランキング修正の場面でじっくり知識の再構成をしている姿。(自分事)
  - ・ランキングの根拠を話し合いながら、各政策について比較して深めている姿。(伝え合う)
- (3) 学習活動の展開

学習活動と主な発問 (○) 予想される子どもの姿 (・)	留意点や支援 (・) と評価 (◇)
<p><b>1. 課題を確認する。</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>4人の政策の中でどの政策から実行すべきか、根拠を挙げながら話し合おう。</p> </div> <p><b>2. 同じ人を1位にした人同士で交流をする。</b></p> <p>○同じ人物を選んだ人同士で交流をしましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・僕は木戸が最優先で、西郷は最後まで良いと思う。憲法を作ることで、一部の権力者だけでなく皆で考えることが出来るし、薩摩や長州の偉い人たちだけで政治が動くこともなくなると思う。西郷は外国を味方につけようと考えているけど、まずは国内の安定が大事。</li> <li>・木戸が一番優先するべきだと考えたのは同じ。やっぱり、法律があると安心感があると思う。良い国にしようって言うても決まりがないとちゃんとしらない人が出てくる。最後は板垣にした。ちゃんと法律があれば、議会がなくても何とかかなと思う。憲法定めて豊かな国にして外国との関係もよくしてから議会を創っても良いと思ったよ。</li> </ul> <p><b>3. 違う人を1位にした人同士で交流をする。</b></p> <p>○違う人物を選んだ人同士で交流をしましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・私は大久保を最優先だと考えたよ。決まりや議会も大事だけど、ヨーロッパの国々から弱いと思われていることが1番問題だと思います。だから、豊かな国にすることが1番だと思います。そうしてから、憲法も法律も、外国との関係もやっていけば良いと思います。</li> <li>・僕は西郷を1番に選んだんですが、大久保を最初にする、豊かな国にしようとしているうちに攻められちゃうかも知れないですね。それは困るはずですよ。</li> </ul> <p><b>4. 自分の順位付けを見直し理由付けをする。</b></p> <p>○友達から聞いたことや、考え直したことをもとにもう一度自分のランキングを見直しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろなランキングを見て考えたけれど、やっぱり僕は木戸孝允の憲法作りから手を打つべきだと思う。</li> <li>・私は木戸を選んだけど、大久保の話聞いて豊かな国にするのが大事だと思ったから大久保を1位にした。</li> </ul> <p><b>5. 学習のふり返しを行う。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・話し合っただけでそれぞれの人の政策がより分かったよ。</li> </ul>	<p>留意点や支援 (・) と評価 (◇)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全員が明治期の近代化改革に貢献している事、近代国家の体制が整っていなかった時代で、どの人物の政策から実施するかという観点で考えていく事の確認を行う。</li> <li>・選んだ人物ごとカードの上部に色を塗り、一目で最初の立場が分かるようにする。また、座席表を配布し、誰がどの立場の人か分かるようにしておく。</li> <li>・勝ち負けではなく、他の人の意見を聞くことで考えを深める広げることが目的であるという交流の目的を子どもたちに伝える。</li> <li>・交流では話すことで整理されることが考えられるため、見せ合うのではなく、できるだけ言葉で伝え合うことも確認する。</li> <li>・同じ人物を1位に選んだ子ども同士でペアを作り交流を行う。その際、相手がいない子どもがいないか様子を見て介入していく。</li> <li>・活動時間を設定しておき、子どもの様子を見ながら対応していく。</li> <li>・1位を選んだ人物が僅かで交流が難しい場合は様子を見て全体交流にしていく。</li> <li>・納得できないところや、まだ疑問に思っているところがある子どもや、皆に聞いてほしいところがある子どもに沿って考えていく。</li> <li>・最後の理由付けとふり返しを大事にするため途中で区切らず、順位付けの見直しが終わった子どもから、今日の学習のふりかえりを記入していくようにする。</li> <li>・意見の変容が見られる子どもやこだわりのある考えを主張している子どもを見取りながら共有していく。</li> </ul> <p>◇最初のランキングと比較して、考えが深まっているか。(思考;ノート)</p>